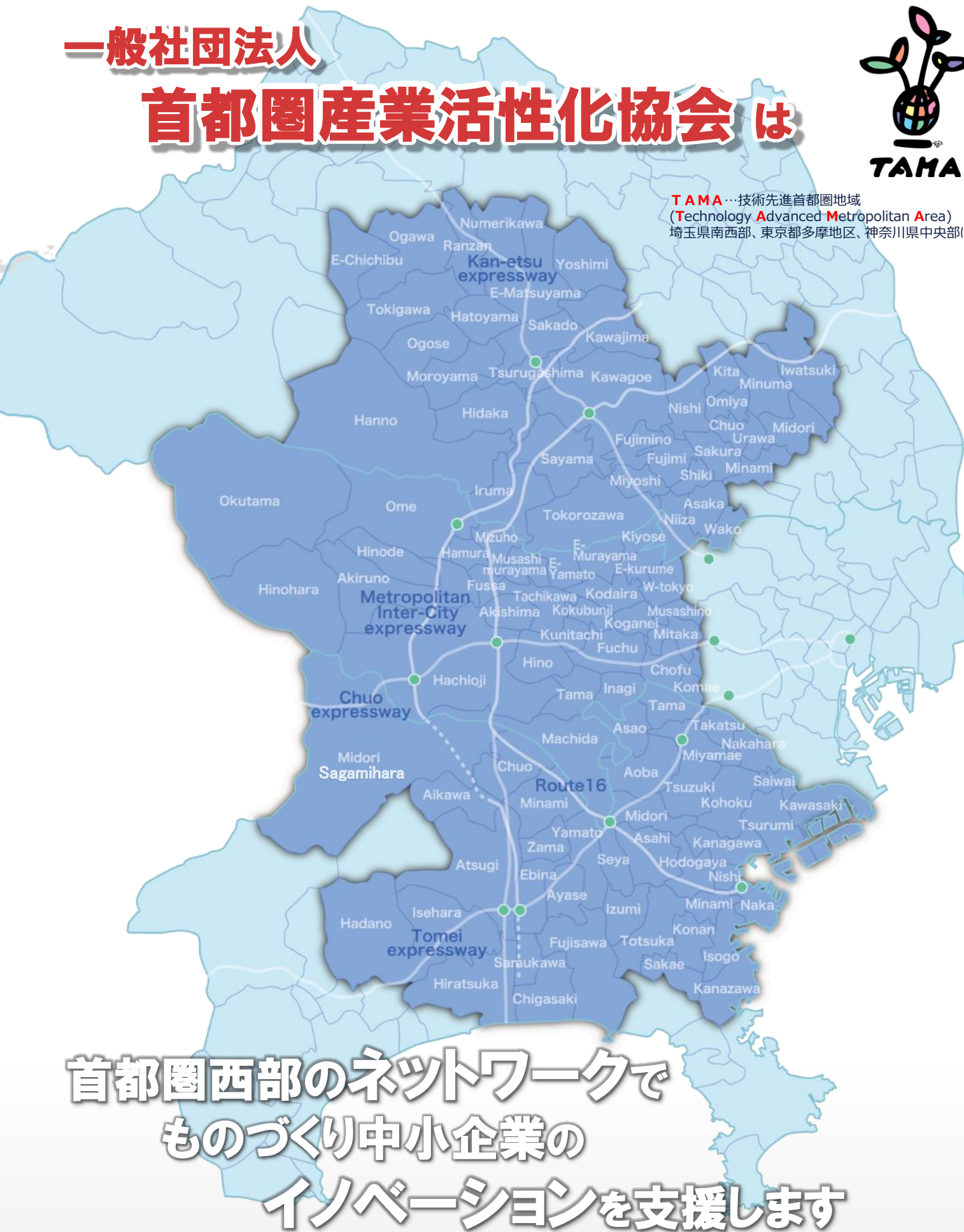


一般社団法人

首都圏産業活性化協会 は



TAMA…技術先進首都圏地域
(Technology Advanced Metropolitan Area)
埼玉県南西部、東京都多摩地区、神奈川県中央部にまたがる地域



首都圏西部のネットワークで
ものづくり中小企業の
イノベーションを支援します

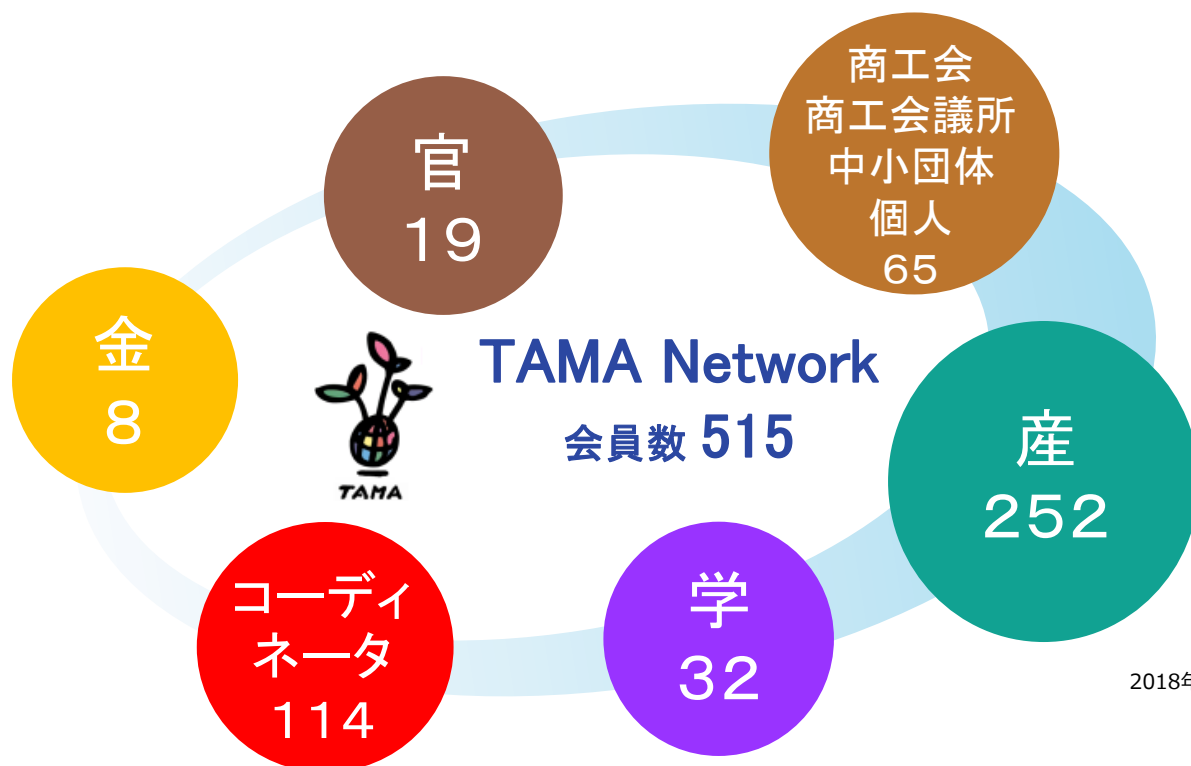
一般社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA協会) <http://tamaweb.or.jp> info@tamaweb.or.jp

八王子事務所 〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11F
TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

羽村サテライト 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2丁目11-1 羽村市産業福祉センター内
TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482

首都圏西部（TAMA）ネットワークに参加しませんか？

私たちは、地域の企業、大学、研究機関、商工団体、自治体、金融機関が活発に連携・交流し、強固なネットワークを築いていくことで、首都圏西部地域を世界有数の新規産業創造拠点にすることを目指しています。



2018年4月現在

Q1 首都圏西部（TAMA）ネットワークとは、どの地域のこと？

首都圏西部、TAMAは「Technology Advanced Metropolitan Area：技術先端首都圏地域」の名称で、具体的には埼玉県南西部地域、東京都多摩地域、神奈川県中央部地域を表わします。大手企業の有力工場、試験研究機関、理工系大学が多数立地している事に加え、中小企業についても、市場把握力と技術力に優れた製品開発型企業と、高精度かつ短期間に対応できる高度な製造技術を有する基盤技術型中小企業がともに多く存在している地域です。

Q2 首都圏産業活性化協会ってどんな組織なの？

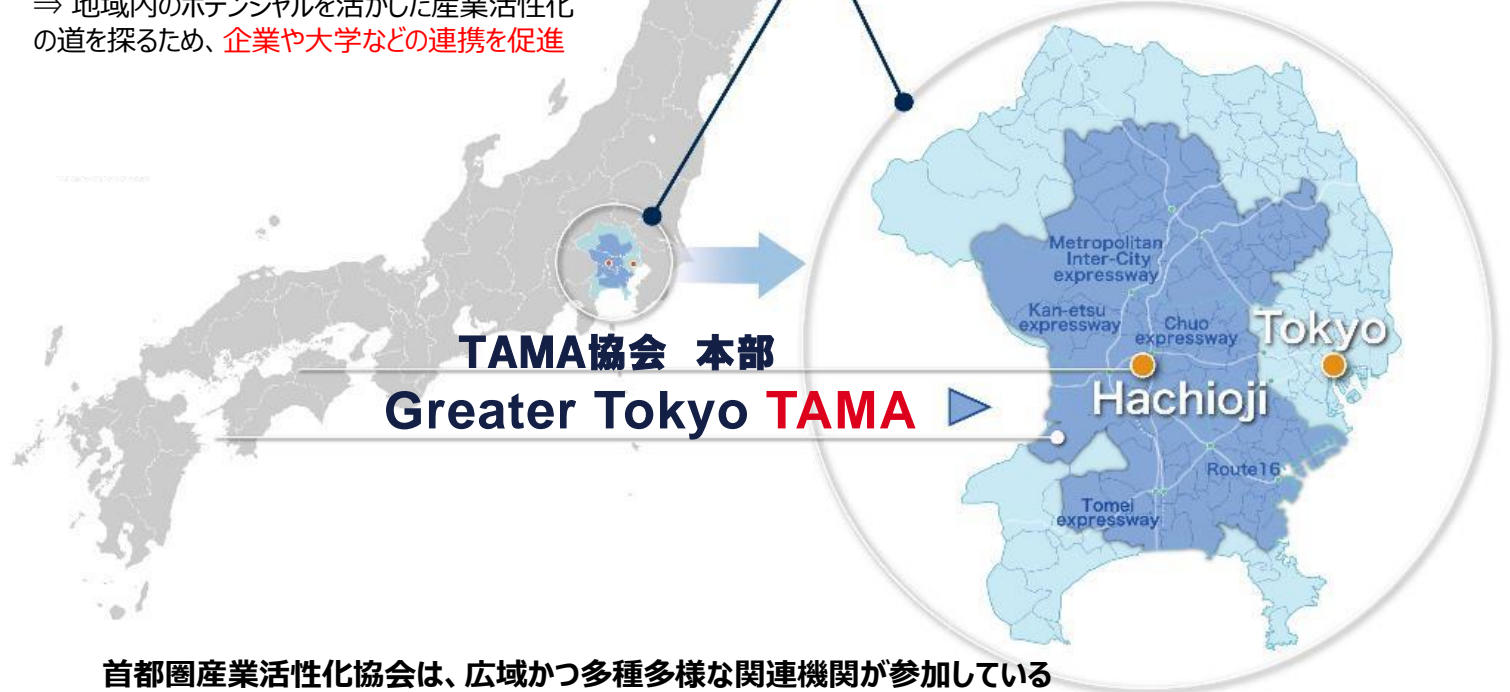
首都圏西部地域の技術力を一層高め、国内外の産業経済の発展に寄与する事を目的に、関東経済産業局の指導のもと、1998年に設立されました。地域の産業資源を活用し、イノベーションが連鎖的に創出される環境を整備する経済産業省の「産業クラスター計画」の地域産業活性化プロジェクト「首都圏西部ネットワーク支援活動」として発展してきました。首都圏産業活性化協会は当地域の中核支援機関として地域における産業ネットワークの強化を進めています。

首都圏産業活性化協会概要

1998年（平成10年）

関東通商産業局（現・関東経済産業局）の呼びかけにより、「TAMA産業活性化協議会」（任意団体）設立
⇒ 地域内のポテンシャルを活かした産業活性化の道を探るため、**企業や大学などの連携を促進**

首都圏 Greater Tokyo Area



TAMA協会 本部
Greater Tokyo TAMA

首都圏産業活性化協会は、広域かつ多種多様な関連機関が参加している
産学官金ネットワークを生かし、産学連携・産産連携をコーディネートします！

Q3 具体的にはどのような活動をしていますか？

地域における産学官金の幅広いネットワークを形成しています。
官・商工団体等・金融機関による支援、大学等の研究機関との連携、企業間のマッチング、コーディネータによる支援等、会員企業の求める支援を適材適所にコーディネートします。
産学連携・産産連携、研究開発支援、販路開拓・海外展開支援、人材育成・確保支援などをトータルに行っています。
また、医工連携やIoTなどの研究会、大学研究を中心としたワーキンググループ、異業種交流会も積極的に行い、学びと出会い・マッチングの場をつくっています。

Q4 これまでに、どのような実績がありますか？

新製品等の事業化に繋がった連携コーディネート実績1,000件超！

- 大学との連携…………… 開発支援、評価試験、問題解決
- 大手企業との連携…………… 試作、共同研究、受発注
- 企業間の連携…………… 技術補完、共同開発、受発注 などがあります。

Q5 参加資格はありますか？

企業、行政、大学、金融機関、専門家、個人の方などどなたでもご参画いただけます。
事業形態により入会金・年会費を設定しています。入会金・年会費は5ページをご覧ください。

コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことをつながり推進しビジネス機会と人財が集まる場を形成する

イノベーション創出支援



- 自治体・公設試等との広域連携
- 中小企業知的財産活動支援
 - …… 知的財産マネジメントセミナーや知的財産活用人材のスキルアップ支援
- 産学連携・企業間連携・研究開発支援
 - …… 大学研究者の紹介、戦略的基盤技術高度化支援(サポイン事業)等競争的資金の活用支援及び個別案件の事業管理機関
- 地域イノベーション創出(製品・技術連携スクエア事業)
 - …… オープンイノベーションによる大手企業との試作、研究開発分野での連携
- 女性研究者の産学連携等による研究成果の輩出・研究力向上



交流

大手企業と中小企業のマッチング会「技術連携交流会」

Sup



付加価値向上支援



- 中核企業創出支援「世界最先端の試作・量産加工センター」サービスの展開
- 高付加価値製品、部品の開発のための補助金獲得支援
- 販路開拓支援を行う公的制度との連携
- 他の支援機関との連携によるセミナーの開催、専門家の派遣
- 海外進出に向けての外部機関との連携支援

ネットワーク強化



ものづくり現場の寄り添い支援

- ・中核企業創出支援、中小企業向けIoT活用による情報管理システム普及促進
- 外部機関との連携による直接・間接業務の生産性向上促進
- ・御用聞き訪問による企業の課題解決・ニーズ対応支援



連携

大学技術工房

大学が保有する技術・研究開発状況を紹介



連携

「ワザ自慢100」製品・技術PRレポート

技術的に優れている企業の技を紹介
これまでに1500社の技術をレポート

人材育成

- 人材育成研修・交流事業
 - 若手、幹部、後継者、経営者等の様々な階層を対象とした人材育成に資する研修、交流会を開催。
- ・人材確保事業
 - 就業支援機関、大学、海外研修生受入機関等との連携による合同企業説明会・インターンシップ等受入れ。
 - 大学等での中小企業によるキャリアアップ講義や中小企業PR。

● 新規
● 充実

・地域産業振興支援事業（各地域の課題解決に向けての事業受託）

・広報事業

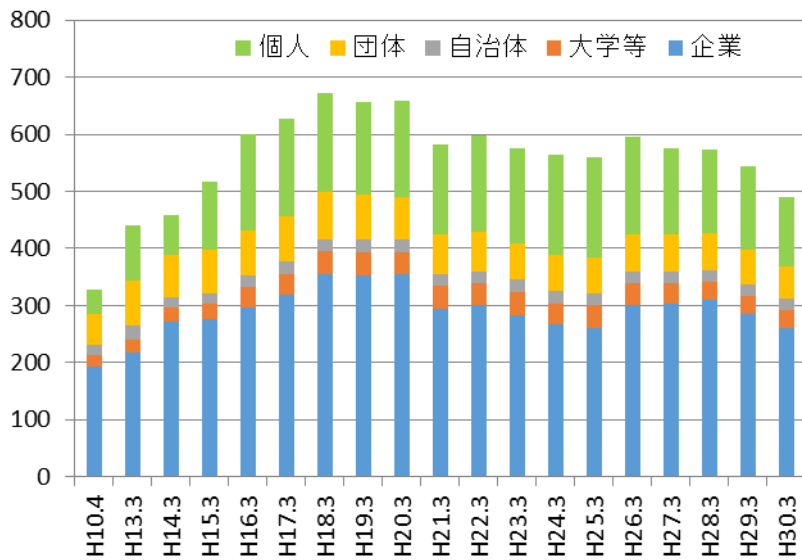
- 協会会員の交流促進、ビジネス機会創出のための会報発行
- 自治体・地域支援機関等への会報配布

・会員増強

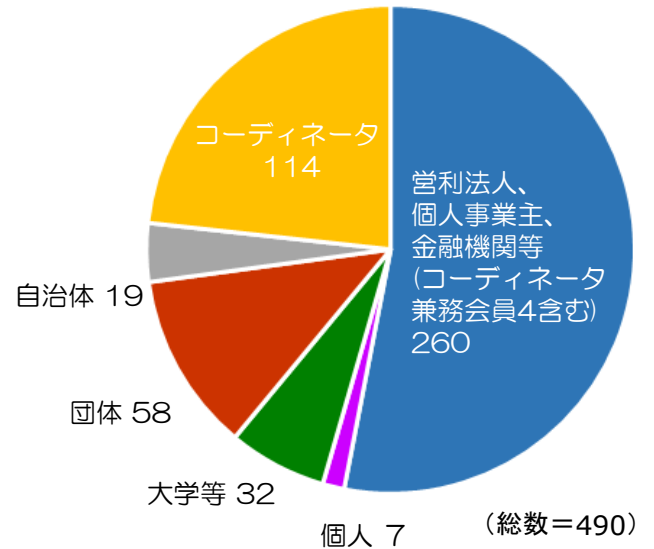
- 会員候補者の紹介促進
- 非会員も参加可能なオープンセミナー・勉強会、補助金獲得支援等、有益な会員サービスの紹介・周知

データで見る首都圏産業活性化協会

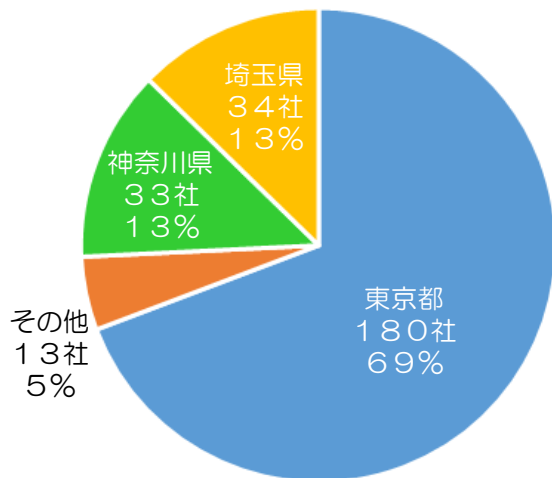
1. 会員数の推移 (平成10年度～平成29年度)



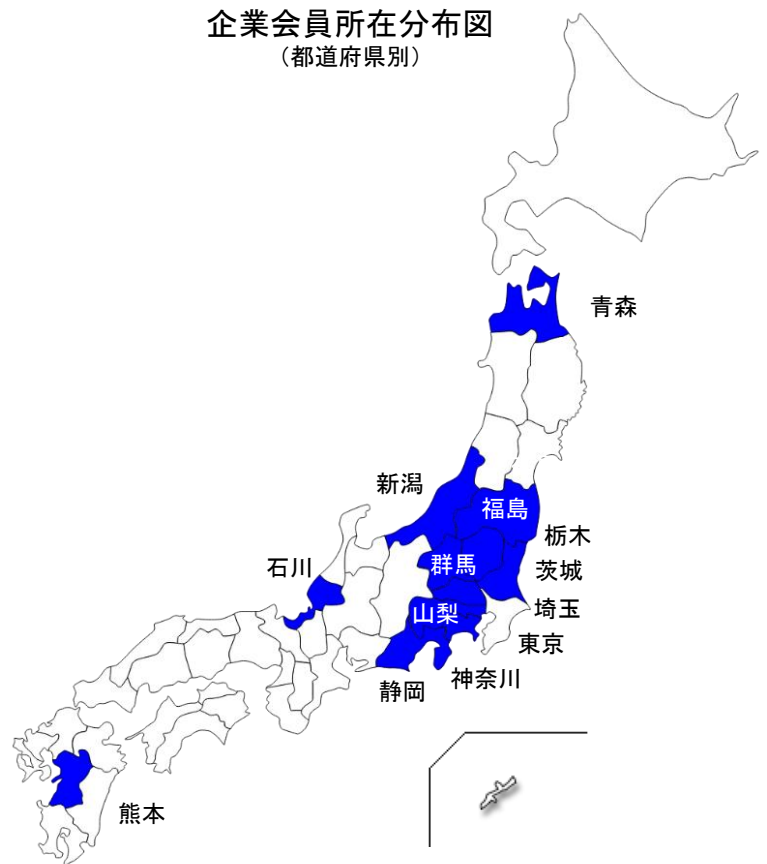
2. 会員の構成 (平成29年度末)



3. 都道府県別企業会員数 (平成29年度末)

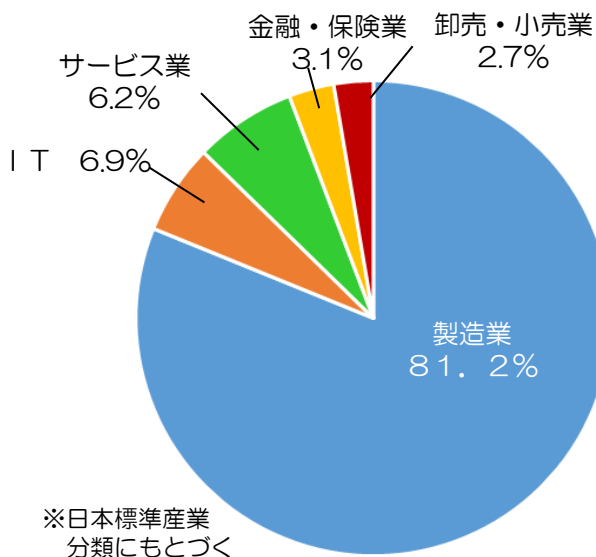


企業会員所在分布図 (都道府県別)



(平成29年度末 企業会員総数=260)

4. 企業会員分類 (業種別)



沿革

第一期 1998年（平成10年）～2002年（平成14年）

ネットワーク形成 インフラの整備を辻田産学官金ネットワークの構築

1998年（平成10年）設立

4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。

当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。

2000年（平成12年）事務所移転

事務所を三鷹産業プラザへ移転。

2001年（平成13年）社団法人化、事務所移転

4月 TAMA産業活性化協議会解散。経済産業省の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会を設立。事務所を八王子スクエアビルへ移転。

2002年（平成14年）コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築



第二期 2003年（平成15年）～2007年（平成19年）

研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による新技術・新製品の開発新事業の創出

2003年（平成15年）ベンチャー基金設立

2004年・2005年（平成16年・17年）海外クラスターとの交流開始

2006年（平成18年）次世代経営者育成・若者ネットワークを構築

2007年（平成19年）大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

第三期 2008年（平成20年）～2012年（平成24年）

環境ものづくり 環境と調和し環境と共生する「ものづくりクラスター」として世界ブランド化をめざす

2008年（平成20年）設立10周年、環境ものづくり支援事業・産学官金サミット開始

2009年（平成21年）環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化

2010年（平成22年）一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定

1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。

2011年（平成23年）地域イノベーション戦略推進地域に選定

「首都圏西部SQOL(Smart Quality of Life)技術開発地域」として選定される。



第四期 2013年（平成25年）～2017年（平成29年）

TAMAエコクラスター 環境配慮ものづくりエコクラスター（環境調和・ビジネス調和）の実現をめざす

2013年（平成25年）TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始

2015年（平成27年）人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進

2017年（平成29年）先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

第五期 2018年（平成30年）～2020年

コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことのつながりを推進しビジネス機会と人材が集まる場を形成する

2018年（平成30年）設立20周年、第五期中期計画策定・開始（4月～）異業種交流会、知的財産人材育成支援事業開始

■ 協会概要

名称：一般社団法人首都圏産業活性化協会（略称：TAMA協会）

英文名：Greater Tokyo Initiative

設立：1998年（平成10年4月）

■ 協会沿革

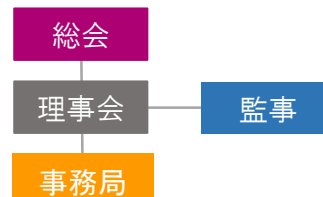
平成10年4月	関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工会等により、八王子商工会議所内の一角でTAMA産業活性化協議会（任意団体）設立
平成12年4月	事務所を、八王子商工会議所から三鷹産業プラザへ移転
平成13年4月	TAMA産業活性化協議会解散 関東経済産業局の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会（略称：TAMA協会）設立
平成13年8月	事務所を、三鷹産業プラザから八王子スクエアビルへ移転
平成14年	コーディネーター制度確立
平成18年	大手企業と中小企業の技術連携交流開始
平成22年4月	一般社団法人首都圏産業活性化協会へ移行

■ 会員分類 会員総数：458

- 企業：211
- 教育機関：30
- 公益法人等：18
- 自治体：19
- 中小団体：9
- 商工団体：32
- 金融機関：7
- 個人：16
- コーディネーター：116

■ 組織 ※平成30年9月現在

- 理事：19名
(会長1名・副会長2名)
- 監事：2名



■ 形態区分と入会金・年会費

区分	資本金等	入会金	会費
営利法人等	100億円超	210,000円	490,000円
	50億円超100億円以下	150,000円	350,000円
	3億円超50億円以下	60,000円	140,000円
	1億円超3億円以下	45,000円	105,000円
	1億円以下	30,000円	70,000円
個人事業主等	起業準備中の個人・創業5年以内の営利法人	15,000円	35,000円
教育機関・在日公館・通商機関	—	10,000円	10,000円
個人	大学教官・学生・官公庁職員、コーディネータ	10,000円	10,000円
商工団体	—	10,000円	10,000円
金融機関	—	60,000円	140,000円
公益法人等	社団法人・財団法人・特殊法人	10,000円	10,000円
中小団体	—	10,000円	20,000円
地方公共団体	製造品出荷額等5,000億円以上	15,000円	30,000円
	製造品出荷額等5,000億円未満	10,000円	10,000円

■ ご入会お申込みは ホームページから可能です。

